

4月は新しい生活が始まる季節です。
慣れない道や車で無理な運転をしないようにしましょう。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



小学生飛び出し！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎生活道路ではゆっくり行きましょう。
- ◎「一時停止」と言えば「二段階の一時停止」を忘れないように！



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



ごめんなさい！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎車列の横切りは、自分も相手も見えませんが超危険。
- ◎車列を横切るときは、一時停止と左右確認が鉄則です。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



双方とも気付かないこともあり得るのです。



この映像の訴求ポイントは…

- ◎進路変更時はサイドミラーだけでなく目視で確認を。
- ◎相手の死角に入らない運転をしよう。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



よく見て～！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎こちらからよく見えていても、相手が見ているとは限りません。
- ◎こちらが見えなかった場合を考え、ちょっと減速しましょう。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



激突！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎運転時の思い込みは事故のもと。
- ◎車を動かすときは、動かす先を目視で再確認する習慣を。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】ドライブレコーダー映像はたくさん見れば見るほど良いのです

「失敗は成功のもと」という言葉があります。しかし、自動車の運転にはその言葉は当てはまりません。自動車の運転における失敗とは「事故」を意味するからです。事故を未然に防ぐには、どのようにすれば良いのでしょうか？

制限速度、信号、一時停止、優先・非優先…いずれも自動車を運転する人が守らなければいけないルールです。では、これらのルールをしっかりと守って運転すれば、事故は起きないのでしょうか？

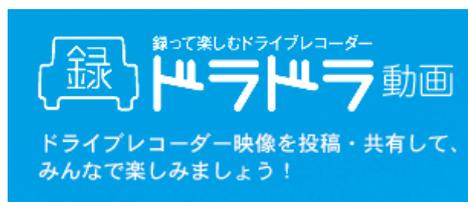
確かに、道路を使うすべての人がルールを完璧に守れば、理論的には事故をなくすことができます。しかし、実際にはルールの逸脱は良く見られることですし、そもそも幼い子供は交通ルールをよく理解していません。そのような状況のなかを、私たちは、日々、ハンドルを握って運転しています。そして、私たちが道路上で遭遇する事故やヒヤリの形態は様々です。ここに、ドライブレコーダー映像を見ることの意義があります。

ドライブレコーダーで撮影された映像は、皆さんと同じ一般ドライバーが日々の運転のなかで遭遇した事故やヒヤリの体験を多数収録しています。これらの映像は、すべて運転席からの目線で撮影されていますので、映像を見ることで、事故やヒヤリを疑似体験することができます。

そのうえで、映像には、注意すべきポイントを示す文字テロップが挿入されています。ここにいう注意すべきポイントとは、その映像の事故やヒヤリの原因を説明するものではなく、その映像に似たシチュエーション（道路構造や交通状況）に遭遇したときに、事故を回避したり、被害を軽減するために事前にとるべき運転操作は何かを示唆する内容です。仮に皆さんが自動車の

運転中にこの映像集で見たものと似たような交通環境に遭遇したとき、映像のシーンを思い出し、文字テロップで示される注意すべきポイントに気付き、自然に危険回避の運転操作（アクセルペダルからブレーキペダルに足を移す、といった行動）をとっている…それが、この映像集が目指す目標です。そのためには、映像は1回だけでなく、何度もいろいろな種類を見ていただくことが重要だと私たちは考えています。

☆右のサイトでは、DVDに未収録のドライブレコーダー映像も多数ご覧いただけます。ぜひ一度、アクセスしてみてください。



ドラドラ動画 <http://www.drive-drive.jp/>

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(裏)